

令和 2 年 6 月 5 日現在

機関番号：12601

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2016～2019

課題番号：16K02166

研究課題名(和文) 漢訳仏典を中心とした中世スリランカ仏教の研究

研究課題名(英文) A Study of Medieval Sri Lankan Buddhism using Chinese Translation of Indian Buddhist Scriptures

研究代表者

馬場 紀寿 (Baba, Norihisa)

東京大学・東洋文化研究所・教授

研究者番号：40431829

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,300,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、スリランカの上座部大寺派が伝承したパーリ仏典に基づいてスリランカ仏教史を構築する方法論的問題の解決を目指し、スリランカに関連する漢訳仏典を活用して、立体的なスリランカ仏教史の再構築を目指した。その研究成果として、古代インドには存在しなかった史書がスリランカに成立した歴史的経緯を明らかにすることができた。漢語資料とパーリ文献との比較調査の過程で、『島史』の構造を解明することに成功し、仏教の中心地であるインド本土に対し周縁にあったスリランカにおいて、大寺が自らを仏教世界の中心に位置づけるために年代記の形式がスリランカに生まれる経緯を論じた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

スリランカは、東アジアや西アジアの影響を受けずに史書というジャンルを作り出したため、本研究は歴史意識や史書の研究に貢献するものである。本研究の成果は、「スリランカにおける史書の誕生」(『東方学』133)として発表され、その論文により、2017年、東方学会賞を受賞した。さらに、本研究は、上座部大寺派が自己形成する歴史的過程を解明することにも貢献した。本研究成果を含む、上座部仏教形成史の研究は、2019年、日本学術振興会賞を受賞した。

研究成果の概要(英文)：This study aimed to solve the methodological problem of building the history of Sri Lankan Buddhism based on the Pali Buddhist tradition handed down by the Mahavihara in Sri Lanka, and reconstruct Sri Lankan Buddhist history by the comparative research between Pali literature and the Chinese translation of the Buddhist scriptures. Using this approach, I focused on the Dipavamsa, which is the first Pali text compiled in Sri Lanka. I succeeded in the redaction criticism of this text, and discussed how the Dipavamsa described the Mahavihara as a global center of Buddhist world, and how it gave the genre of historiography in Sri Lanka.

研究分野：仏教学

キーワード：スリランカ 上座部 大寺 史書 島史 大史 漢訳仏典

1. 研究開始当初の背景

中世スリランカの仏教は、大乘を受容した無畏山寺派や祇多林寺派と、大乘を斥けた大寺派との三派に大きく分かれた。現存するパーリ文献はすべて大寺派が伝承したものである。パーリ文献の中でも、最初の史書である『島史』の研究に焦点を当てるならば、その概要については、Norman (1983: 115–117)、Collins (1990: 99–101)、Law (1994: 1–9)、von Hinüber (1996: §182–188)があり、『島史』の源泉資料や言語的特徴については、Geiger (1905)、Bechert (1969) (1971)、Frauwallner (1984)、Tsuchida (1987)があり、『島史』の成立背景を考察した Kiribamune (1979)、Walters (1997) (1998) (1999) (2000)、Thapar (2013: 418–421)があるが、『島史』編纂者の編集作業を論じた研究は存在しなかった。

2. 研究の目的

本研究は、スリランカの上座部大寺派が伝承したパーリ仏典に基づいてスリランカ仏教史を構築する方法論的問題の解決を目指し、漢訳仏典を活用して、それらとの比較においてパーリ仏典を調査し、立体的なスリランカ仏教史の再構築を目指した。

3. 研究の方法

スリランカで最初に成立した現存パーリ文献である『島史』の読解を進める一方で、漢訳仏典を中心とした非大寺派資料における内容の対応を調査した。その上で、『島史』の構造を分析し、その編纂者の編集作業を再構成した。

4. 研究成果

本研究の成果として、古代インドには存在しなかった史書がスリランカに成立した歴史的経緯を明らかにすることができた(馬場 2017)。その内容は、以下のようにまとめられる。『島史』の編纂者は、仏教の中心地であるインド本土と周縁にあったスリランカの関係を逆転し、仏(聖地)と法(結集仏説)と外護者(王権)という三点で、大寺の僧伽を仏教世界の正統に位置づけた。すなわち、インド仏教にかんする諸伝承を結集仏典(上座説)が代々継承されてマヒンダに至った歴史としてまとめ、スリランカの王権にかんする諸伝承をマハーサンマタ王、ひいては釈迦族の末裔であるデーヴァーナンピヤ・ティッサ王を中心とする歴史としてまとめ、スリランカ仏教にかんする諸伝承を聖地としての大寺を軸にまとめたうえで、これら三つの要素が大寺の設立の場面で一つに結びつく歴史を作り上げたのである。部派とその本拠地の両方を仏教世界の中心に据える『島史』により独自の正統意識を形成した上座部大寺派は、その後のスリランカ仏教に大きな影響を与えた。

引用文献

- Collins, Steven (1990) "On the very Idea of the Pali Canon," *Journal of the Pali Text Society* 15, pp. 89-126.
- Frauwallner, Erich (1984) "Über den geschichtlichen Wert der alten ceylonesischen Chroniken," V. E. Steinkellner (ed.), *Nachgelassene Werke I: Aufsätze, Beiträge, Skizzen*, Wien: ÖAW, pp. 7–33.
- Geiger, Wilhelm (1905) *Dīpavaṃsa und Mahāvāṃsa und die geschichtliche Überlieferung in Ceylon*, Leipzig: A. Deichert'sche Verlagsbuchhandlung Nachf. (G. Böhme).
- Gethin, Rupert (2012) "Was Buddhaghosa a Theravādin? Buddhist Identity in the Pali Commentaries

- and Chronicles,” Peter Skilling, at el. (ed.), *How Theravāda is Theravāda? Exploring Buddhist Identities*, Chiang Mai: Silkworm Books, pp. 1–63.
- von Hinüber, Oskar (1996) *A Handbook of Pāli Literature*, Berlin / New York: Walter de Gruyter.
- von Hinüber, Oskar & Peter Skilling (2013) “Two Buddhist Inscriptions from Deorkothar (Dist. Rewa, Madhya Pradesh),” *Annual Report of The International Research Institute for Advanced Buddhology at Soka University* 16, pp.13–26.
- Kiribamune, Sirima (1979) “The Dīpavaṃsa in Ancient Sri Lankan Historiography,” *Sri Lanka Journal of the Humanities* 5, pp. 89–100.
- Kiribamune, Sirima (1993) “Buddhist Historiography: Sri Lankan Historiography,” S. A. I. Tirmizi (ed.), *Cultural Interaction in South Asia: A Historical Perspective*, New Delhi: Hamdard Institute of Historical Research.
- Law, B. C. (1994) *On the Chronicles of Ceylon*, New Delhi / Madras: Asian Educational Services.
- Norman, Kenneth R. (1983) *Pāli Literature*, Wiesbaden: O. Harrassowitz.
- Thapar, Romila (2013) *The Past before Us*, Cambridge: Harvard University Press.
- Tsuchida, Ryutaro (1987) “Observations on the Language of the Dīpavaṃsa,” *Studien zur Indologie und Iranistik* 13/14, pp. 301–310.
- Walters, Jonathan (1997) “Mahāyāna Theravāda and the Origins of the Mahāvihāra,” *The Sri Lanka Journal of the Humanities* 23, pp. 100–119.
- Walters, Jonathan (1998) *Finding Buddhists in Global History*, Washington D. C. : American Historical Association.
- Walters, Jonathan (1999) “Mahāsena at the Mahāvihāra: The Interpretation and Politics of History in Medieval Sri Lanka,” Daud Ali (ed.), *Invoking the Past: the Uses of History in South Asia*, New Delhi / New York: Oxford University Press, pp. 322-366.
- Walters, Jonathan (2000) “Buddhist History: The Sri Lankan Pāli Vaṃsas and Their Community,” Ronald Inden, Jonathan Walters, Daud Ali (ed.), *Querying the Medieval: Texts and the History of Practices in South Asia*, New York: Oxford University Press, pp.99–164.
- 馬場紀寿 (2017) 「スリランカにおける史書の誕生」 『東方学』 133, pp.1–14.

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計3件（うち査読付論文 2件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 馬場紀寿	4. 巻 133
2. 論文標題 スリランカにおける史書の誕生	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 東方学	6. 最初と最後の頁 1-14
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 馬場紀寿	4. 巻 171
2. 論文標題 小部の成立を再考するー説一切有部との比較研究ー	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 東洋文化研究所紀要	6. 最初と最後の頁 129-173
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 馬場紀寿	4. 巻 15
2. 論文標題 仏教における「正統と異端」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 丸山眞男記念比較思想研究センター報告	6. 最初と最後の頁 52-61
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計0件

〔図書〕 計2件

1. 著者名 馬場紀寿	4. 発行年 2019年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 256
3. 書名 初期仏教 ブッダの思想をたどる	

1. 著者名 Zhaoguang GE, Federico MARCON, Takahiro NAKAJIMA, Masashi HANEDA, Benjamin A. ELMAN, Jin SATO, Yunshen GU, Shaoxin DONG, Norihisa BABA, Tineke D'HAESSELLER, Xinlei WANG, Yasushi OKI, Paize KEULEMANS, Zhenzhong WANG, Sheldon GARON	4. 発行年 2017年
2. 出版社 Brill	5. 総ページ数 257
3. 書名 The "Global" and the "Local" in Early Modern and Modern East Asia	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------------------------	-----------------------	----